

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成22年9月9日(2010.9.9)

【公表番号】特表2010-504411(P2010-504411A)

【公表日】平成22年2月12日(2010.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2010-006

【出願番号】特願2009-529412(P2009-529412)

【国際特許分類】

C 08 G 18/32 (2006.01)

【F I】

C 08 G 18/32 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月29日(2010.6.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(i) N, N'-ジ-(3,3-ジメチル-2-ブチル)-1,6-ジアミノヘキサンと

、

(ii) (a) 脂環式一級ジアミン；

(b) アミノ基がアミノヒドロカルビル基であるヒドロカルビル脂肪族二級ジアミン；

(c) 脂肪族二級ジアミンおよび脂肪族一級ジアミン；

(d) 脂肪族ジイミン；および

(e) (a)から(d)の任意の2つ以上の組み合わせ物

からなる群から選択される成分

を含んでなる鎖延長剤組成物。

【請求項2】

(ii) が

脂環式基は単一環を有すること；

アミノ基の少なくとも1つは環に直接に結合していること

の特徴の少なくとも1つを有する脂環式一級ジアミンである、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記脂環式一級ジアミンがイソホロンジアミンである、請求項2に記載の組成物。

【請求項4】

(ii) が脂肪族二級ジアミンであり、ならびに前記脂肪族二級ジアミンが  
ジアミンのヒドロカルビル部分は直鎖であること；

脂肪族二級ジアミンは約10から約30個の炭素原子を有すること

の特徴の少なくとも1つを有する、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

(ii) が脂肪族二級ジアミンおよび脂肪族一級ジアミンである、請求項1に記載の組成物。

【請求項6】

前記脂肪族二級ジアミンが

ジアミンのヒドロカルビル部分は直鎖であること；

アミノヒドロカルビル基は直鎖もしくは分岐鎖のアルキル基であること；

脂肪族二級ジアミンは約10から約30個の炭素原子を有することの特徴の少なくとも1つを有する、請求項5に記載の組成物。

【請求項7】

前記脂肪族一級ジアミンが  
ジアミンのヒドロカルビル部分は直鎖であること；  
脂肪族一級ジアミンは約6から約20個の炭素原子を有することの特徴の少なくとも1つを有する非環状脂肪族一級ジアミンである、請求項5に記載の組成物。

【請求項8】

前記脂肪族一級ジアミンが  
脂環式基は単一環を有すること；  
アミノ基の1つは環に直接に結合していること  
の特徴の少なくとも1つを有する脂環式一級ジアミンである、請求項5に記載の組成物。

【請求項9】

(i) が脂肪族ジイミンであり、ならびに前記脂肪族ジイミンのイミノヒドロカルビリデン基が  
分岐鎖アルキリデン基であること；  
3から約6個の炭素原子を有すること  
の特徴の少なくとも1つを有する、請求項1に記載の組成物。

【請求項10】

(A) 少なくとも1つの脂肪族ポリイソシアネート、(B) 少なくとも1つのポリオールおよび／または少なくとも1つポリエーテルアミン、および(C)  
(i) N,N'-ジ-(3,3-ジメチル-2-ブチル)-1,6-ジアミノヘキサン；  
(ii) (a) 脂環式一級ジアミン；  
(b) アミノ基がアミノヒドロカルビル基であるヒドロカルビル脂肪族二級ジアミン；  
(c) 脂肪族二級ジアミンおよび脂肪族一級ジアミン；  
(d) 脂肪族ジイミン；および  
(e) (a)から(d)の任意の2つ以上の組み合わせ物  
からなる群から選択される成分  
を含んでなる鎖延長剤と一緒に混合することを含んでなる、ポリマーを製造する方法。

【請求項11】

前記ポリイソシアネートがイソホロンジイソシアネートであり、および／または(B)  
が少なくとも1つのポリエーテルアミンである、請求項10に記載の方法。

【請求項12】

(i) がイソホロンジアミンである、請求項10に記載の方法。

【請求項13】

(i) が  
脂環式基は単一環を有すること；  
アミノ基の1つは環に直接に結合していること  
の特徴の少なくとも1つを有する脂環式一級ジアミンである、請求項10に記載の方法。

【請求項14】

前記ポリイソシアネートがイソホロンジイソシアネートであり、ならびに(B)が少な  
くとも1つのポリエーテルアミンである、請求項13に記載の方法。

【請求項15】

擬プレポリマーがこの工程時に形成されるか、またはプレポリマーがこの工程時に形成  
される、請求項10に記載の方法。

【請求項16】

(A) 少なくとも1つ脂肪族ポリイソシアネート、(B) 少なくとも1つポリオールお  
よび／または少なくとも1つポリエーテルアミン、および(C)  
(i) N,N'-ジ-(3,3-ジメチル-2-ブチル)-1,6-ジアミノヘキサンと

( i i ) ( a ) 脂環式一級ジアミン；  
( b ) アミノ基がアミノヒドロカルビル基であるヒドロカルビル脂肪族二級ジアミン；  
( c ) 脂肪族二級ジアミンおよび脂肪族一級ジアミン；  
( d ) 脂肪族ジイミン；および  
( e ) ( a ) から ( d ) の任意の 2 つ以上の組み合わせ物  
からなる群から選択される成分と  
からなる鎖延長剤を含んでなる成分から形成されるポリマー。

【請求項 17】

前記ポリイソシアネートがイソホロンジイソシアネートであり、および / または ( B )  
が少なくとも 1 つのポリエーテルアミンである、請求項 16 に記載のポリマー。

【請求項 18】

( i i ) がイソホロンジアミンである、請求項 16 に記載のポリマー。

【請求項 19】

( i i ) が  
脂環式基は単一環を有すること；  
アミノ基の 1 つは環に直接に結合していること  
の特徴の少なくとも 1 つを有する脂環式一級ジアミンである、請求項 16 に記載のポリマ  
ー。